

「ヒートポンプ問題連絡会」発足のお知らせ

2010年8月20日

昨日8月19日、環境エネルギー政策研究所など市民団体8団体
(以下、リスト)は共同で「ヒートポンプ問題連絡会」を発足させました。

市民団体8団体は、ヒートポンプをめぐる諸問題について、メーカー8社に公開質問状を送り、その回答をまとめました。しかしながら、8社からの回答は、我々が求めていたような明確なものではありませんでした。
我々は引き続きこの問題を分析・提言する必要があると考え、同会を発足させるに至りました。

【ヒートポンプの主要な問題点】

1. 高いCOP値を得るための意図的工作

エアコンの省エネ効率を示すCOP値について、性能測定のためだけの「隠しスイッチ」を用いるなどの方法で、メーカーがその数値を意図的にかさ上げしていた。

2. 節電金額表示におけるJIS標準時間と実態との乖離

JISでは、冷房3.6ヶ月、暖房5.5ヶ月、1日最大18時間エアコン利用を基準としているが、一般家庭の実際の使用時間はこの5分の1から6分の1程度にすぎない。

3. 冷媒フロンの増量と漏洩

冷媒として使用されているフロンは9割が大気中に放出されているのが現状であり、フロン漏洩の実態をふまえると省エネによるCO₂削減を相殺するものである。

(フロンはCO₂の数千倍もの温暖化係数を持つ強力な温室効果ガスである)

ヒートポンプ問題連絡会では、健全な地球温暖化対策が実施されるよう、上記に象徴されるヒートポンプ・フロン問題を監視し、諸課題を分析、提言して参ります。

<市民団体8団体>

足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、環境エネルギー政策研究所、気候ネットワーク、グリーンコンシューマー東京ネット、市民がつくる政策調査会、主婦連合会、ストップ・フロン全国連絡会、日本環境法律家連盟

関連リンク：

「ヒートポンプの性能表示に関する公開質問状」エアコンメーカーの回答とその分析と評価
<http://www.kiconet.org/iken/kokunai/archive/pr20100819-1.pdf>

ヒートポンプをめぐる諸問題への対応「ヒートポンプ問題連絡会」発足について
<http://www.kiconet.org/iken/kokunai/archive/pr20100819-3.pdf>

ヒートポンプをめぐる諸課題と最近の動向について(気候ネットワーク)
<http://www.kiconet.org/iken/kokunai/archive/pr20100819-2.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】

非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所

担当：船津寛和

〒164-0001 東京都中野区中野 4-7-3

TEL 03-5318-3331 FAX 03-5369-7970

E-mail : info@isep.or.jp <http://www.isep.or.jp/>